

一九七一年八月七日第三種郵便物許可(毎月六回一の日・六の日発行)
一九九六年五月二六日発行・SSKA増刊通巻二六三二号

SSKA

全国パーキンソン病友の会会報

茨城県支部だより



第 3 9 号
平成 8 年
5 月 2 6 日

全国パーキンソン病友の会茨城県支部
〒三一五茨城県石岡市若松一七五
TEL & FAX ○二九九(二二)五五八〇
郵便振替 ○三〇〇一四一三八〇四二

*ご挨拶	二
*会員の近況	三
" "	四
" "	五
*祝電・メッセージ	六
" "	七
" "	八
" "	九
*JPCの署名と募金/寄付金一覧表	〇
*新役員紹介/訃報	一
*議事及び議案審議結果報告/平成八年度活動方針	二
*他団体よりの手紙(全国膠原病友の会支部長)	三
*新会員の紹介	四
*総会の総括/事務局だより/編集後記	五
	六

目次

挨拶文

茨城県支部長 清水 昇勝

皆さん、お早う御座います。只今ご紹介頂きました。清水で御座います、本日は、ここ茨城県総合福祉会館に於いて、第11回定期支部総会を開催出来ました事を感謝申し上げます。また、会員の皆様には、お身体の大変のところ、県内各地より、お集まり下さいまして、お疲れさまで御座います。昨年、支部結成10周年を記念しまして、第19回全国大会が皆様のご協力により盛会のうち無事行われました。また、ささやかな記念誌「あゆみ」も発行出来ました、これも皆様方が、友の会の運営に対する、ご理解とご協力の賜物と存じます。

高齢化時代が進むなか、介護保険について、昨年の7月に老人保険福祉審議会中間報告「新たな高齢者介護システムの確立について」と今年1月には第2次報告があり「新たな高齢者介護制度について」が報告された、私たちは期待と不安で一杯であります。「介護」についての公的責任の軽減、「社会保険方式」の持つ限界、無保険者、加入期間など明らかになっていない「保険あって介護なし」と批判するものであります。これらの事を皆さんと共に勉強していきたいと思えます。

これから、はじまる総会の議案審議をお願いするとともに、午後からの医療講演には、水戸赤十字病院の神経内科部長の鈴木則広先生をお願いしてあります。皆さんと一緒にご拝聴致したいと思えます。

今日の総会にご出席の皆さん、日頃から体調を整え勇気を出してご参加されて大変ご苦労様でした。

このあと、ご披露されます多数の、祝電・メッセージには身にあまる励ましのお言葉を頂いております。

最後に今日朝早くから、お手伝い頂いておりますボランティアの皆様にご心から感謝申し上げます、ご挨拶と致します。

会員の近況

平成8年4月現在

- * 御無沙汰致しております、薬を吞んでれば2時間位は効いております。小字症ですので手紙が書けません。
- * 昨年9月13日より薬の組替えのため入院しております。
- * 発病18年で国立病院の吉沢先生、近所の会沢内科にお世話になり順調、週1回老人サービスセンターにお世話になっている。
- * 1種類残して今までの薬取り替えて。歩行困難で苦労している。
- * 病状も安定致しております。会長さんにおまかせ致します。
- * 現在体調が思わしくない日が多い。
- * 毎日規則正しい生活を心がけております。
- * 日赤の鈴木先生にお世話に成って居ります。腰痛がひどく困って居ります。
- * 3月9日発熱39度3分で白血球が25,000ことで入院しました。
- * 支部結成10周年記念誌の発刊おめでとう御座います、支部長他役員の皆様、会員有志の皆様の積極的なご協力の賜物と存じます。
- * 足腰の痛みがひどく遠出も出来ません。
- * 余り進行せず現状維持の状態です。
- * 特にかわった事なく暮らしています。
- * 身体の曲がったのは取れて少なくなが、足は歩くのがやっとなです。

- * 何事をするにも時間がかかるため毎日家事に追われる日々です。
- * 体調は可もなく不可なくという具合です。
- * 会報の重なり高く病進む。
- * 4月1日筑波大学病院に変えてから特に調子が良いです。
- * 病状が進み、一人で立っている事も難しい、週2回リハビリ体操に通う。
- * 薬の加減で歩行困難の時間が多くなりました。
- * 3年前より手足が時々ふるえる様になりました、医者に行く様になってからはなくなり、口だけが時々ふるえます。
- * 最近、急に進行しています、歩行が困難になり、ほとんど外に出ることがなくなり、家の中でも杖を使うようになりました。
- * 「あゆみ」の発刊おめでとうございます、苦しい十年間をふりかえ感無量で何度も涙しながら拜読させて頂きました。
- * 歳を取るたびに症状が悪化してます、良い薬を待ち望んでいます。
- * 「あゆみ」記念誌お送り下さりありがとうございます、腰を痛めてしまいました。
- * 陽気も段々と春めいてきてまして、体調も良くなって来るのが待ちどしい、この頃薬の効き目が悪くいのが毎日です
- * 高齢のため、寝たきりの状態です。
- * 初石病院に入院中、病状も落ち着く、食事・排泄は人に世話になっています

- * 主病脊髄小脳変性症、家の中でつたい歩きで一人での外出は不可能の毎日
- * 発病6年位で先生からも進みが遅いといわれ、薬も吞まず頑張っている。
- * 発病5年が過ぎました、一昨年64才で仕事をリタイアして年金生活をしています。軽症で介護の要はありません。
- * 特にひどくなく仕事に頑張っています。
- * 何時もお世話になります、ご通知頂き事に良いお知らせ出来ずつらい心境です。
- * 役員の方々お世話になります、最近特に足腰の調子が悪く歩行困難で歩く事が出来ず、明るいニュースをご期待します。
- * 最近歩行困難となり、とても水戸の方までは行く事が困難です。
- * いろいろ障害が多く出てきます、薬の薬害と思えます
- * お陰様で病気も進行せず、カラオケ・ダンス等を楽しみで居ります。
- * 薬の量も増えず頑張っています。
- * 母が亡くなってから間もなく丸3ヵ月になります、宝物に等しい人でしたので精神的に立ち直れませんでした。
- * 日製病院に入院して2月2日に退院して自宅で静養中です。
- * 歩行不可のため欠席います。
- * 乗り物が困難のため欠席致します。

祝電・メッセージ

- 貴第11回定期支部総会の開催を祝し連帯のメッセージを送ります。

パーキンソン病患者とその家族の生命と暮らしを守り、生きがいのある生活を求めて日々ご奮闘の皆さんに心から敬意を表します。

私たちは、「人間の尊厳・生命の尊厳」が何よりも大切にされる社会を強く願っています。しかし、いま国民の公的介護保障の切実な要求をねじまげ、社会保険方式による「介護保険構想」を導入しようとし、医療保険制度の改悪もすすめようとしています。私たちを取り巻く情勢は、ますます厳しくなっています。

しかしながら、私たちの運動は不十分ではありますが「難病福祉施策」の実現など効果をあげています。これからも豊かな医療と福祉の充実をめざし、ともに手を携え励まし合いながら運動を続けていきましょう。

貴会が地域におけるパーキンソン病患者とその家族の「拠り所」として、ますますご活躍ご奮闘されることを祈念いたします。

貴第11回定期支部総会のご盛会と貴会のご活躍を祈念いたします。

————— 日本患者・家族団体協議会（JPC） 様

- このたび貴支部第11回定期総会開催に当たり折角お招き頂きましたが、都合で出席できませんことをや詫致し、書面をもって総会が盛会に行われますことを心からお祈り申し上げます。

昨年の全国総会・大会（茨城大会）が大成功裡に行われ、今年はまた支部結成10周年記念誌「あゆみ」を発行され、その活発な支部活動はひとえに清水支部長を始めとして役員、支部会員の皆様方の熱意のあらわれと深甚なる敬意を表するとともに、他支部に対しまして強い刺激を与え、引いては全国友の会の強化、発展に結び付くものとして誠に慶賀の至りと存じております。

診療報酬200点加算は達成したものの、なお我々を取り巻く環境は厳しく、余談を許さない情勢に置かれており、本部も積極的活動を展開して行く所存でございますので、今回の総会を機に貴支部のさらなる飛躍を期待し、ご協力をお願い致し、祝辞に代えさせていただきます。

————— 全国パーキンソン病友の会会長 馬場 富雄 様

- 全国パーキンソン病友の会茨城県支部の第11回定期総会の開催を心からお祝い申し上げます。

会員の皆様、励まし合い助け合い、仲よく大きな輪を大切に、明るく療養生活を送って下さい。

茨城県支部の発展を心からお祈り致します。

————— 全国パーキンソン病友の会北海道支部長 小宮山タケノ 様

- 第11回茨城県支部定期総会の開催を心からお祝い申し上げます。

貴支部が、パーキンソン病患者・家族の医療と福祉の増進のために、活発な活動をされていることに深く敬意を表します。

貴支部の定期総会のご盛会と、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

————— 全国パーキンソン病友の会京都府支部長 安見康治 様

- 第11回定期総会を心から、お祝い致します。難病患者に対する情勢は、ますます厳しくなってきましたが、貴会の日頃の活動に対し敬意を表します。

今後とも力を合わせて頑張りましょう。

————— 全国パーキンソン病友の会大阪府支部長 松尾俊郎 様

- 総会の開催を祝し、心からお慶び申し上げます。

貴会の皆様方が、日頃より、会の発展と、難病に苦しむ患者や家族のために、医療・福祉の増進を願ってご努力されておられますことに深く敬意を表します。

現在、わが国の厚生行政においては、医療・福祉の諸制度の改正が次々と打ちだされてきています。

私たち、患者・家族の周辺で何が起り、どのように変化しようとしているのか、厳しく情勢把握に努めるとともに、暮らしやすい環境づくりをめざして力を合わせて頑張ってください。

本総会のご盛会とご成功を祈念し、あわせて貴会が今後ますますご発展されますようご期待申し上げ、お祝いのご挨拶といたします。

————— 全国パーキンソン病友の会広島県支部長 山脇和子 様



□ 茨城県支部友の会の皆さん、去年は全国大会で大変お世話様になりました。お礼申し上げます。

今般、第11回茨城県支部の総会が開催されますこと、お祝い申し上げます。

今、全国パーキンソン病友の会の会員は4,200名余と言われ、難病疾患36指定の内で3番目に多い疾患であります。

然し、社会で活動している人は極く少数の人に限定されていると思います。病気の特徴として、中年以降の発病が多く、しかも進行性であり、悪くなる一方で付添や介護を必要とする人が多く、総会に出席出来ない人が沢山いるかと存じます。

私達は、総会を機会に社会に対し、より人間らしく、生きるために患者の立場、家族の立場を理解してもらえよう、啓蒙活動することが大切です。又、行政に訴える事については、患者同志が団結、結集することです。小石でも数が多くなれば流れを変えられます。

そして私達の日常生活は常に「プラス発想」して「自分が好きなことを楽しくすること」が身体に良いと言います。悩んだり、避んだり、妬んだり、怒ったり等のマイナスの思いは、体に悪い、ホルモンノルアドレナリンが脳から分泌され身体の調子を悪くすると言われていています。(春山茂雄著書「脳内革命」から)必ず近い内に完治する薬が開発するものと信じます。友の会の皆さん頑張ってください。

最後に体調をくずさないよう身体を大切にしてください。

————— 全国パーキンソン病友の会栃木県支部長 田中洋一 様

□ 第11回総会のご成功をお祈り申し上げますとともに、実り多き会でありますよう期待いたします。

————— 全国パーキンソン病友の会山口県支部長 山田治朗 様

□ 第11回定期支部総会のご開催、誠にめでとう御座います。

私達パーキンソン病を始めとする難病患者を取り巻く環境は相変わらず厳しい現状です。一日も早い完全な治療法の確立が訪れる日まで患者同志は力強くスクラムを組んでお互いに励まし合いながら頑張ろうではありませんか。

貴支部の今後のご活躍とご発展をご祈念致します。

————— 全国パーキンソン病友の会兵庫県支部長 篤永 穰 様

- 全国パーキンソン病友の会茨城県支部総会の開催をお祝い申し上げます。
会員の皆さんが手を取りあって一丸となって、長期療養にたち向かってがんばって下さい。

貴支部の益々の発展を祈念いたします。

————— 全国パーキンソン病友の会宮崎県支部長 原田恒夫 様

- 茨城県支部の皆様、第11回定期支部総会お目出とう御座います。

昨年は阪神大震災にはじまり某宗教団体の無差別殺人、猛暑と水不足等政治経済、自然界の異常の1年でありました。私たち難病者にとっては安心した治療生活が必要です。病気の原因究明と治療の確立を願い、貴支部の益々ご発展を心からお祈り申し上げます。

昨年の全国大会では大変お世話様になりました。厚くお礼申し上げます。

————— 全国パーキンソン病友の会愛媛県支部長 林 芳明 様

- 第11回定期総会おめでとうございます。心からお祝い申し上げますとともにこの日までの、会員の皆様、また役員の皆様が絶えざるご努力とご活躍に敬意を表します。

難病パーキンソン病が完治する日まで、お互いに連帯して、つとめていきましょう。

ご一同さまの変わらぬご活躍を祈り上げます。

————— 東京都パーキンソン病友の会会長 駒形みよ子 様

- 第11回定期支部総会おめでとうございます。

パーキンソン病は長期にわたる療養のために、精神的、経済的、又、社会的にも大変な苦勞をかかえています。問題を解決するためには、個人ではなかなか思うようにならないのが現状です、そのためには本日の総会が今後の活動にむすびつきますことを信じてごあいさついたします。

おたがいにがんばりましょう。

————— 全国パーキンソン病友の会長野県支部長 胡桃弘芳 様



- 茨城県支部定期総会おめでとうございます。関係各位の、ご尽力と、会を支えてくださる会員の皆様方に、敬意を表しますとともに、一日も早く「原因究明と完全治療法の確立」が到来することを祈念いたします。

————— 全国パーキンソン病友の会佐賀県支部長 清水 努 様

- 総会の開催おめでとうございます。貴支部のご発展をこころよりお祈り申し上げます。

————— 全国パーキンソン病友の会岡山県支部長 高尾寿賀子 様

- 総会の開催をお祝い申し上げますとともに、会の今後のますますのご発展をお祈り申し上げます。

————— 茨城県衛生部保健予防課長 佐久間文明 様

- 本日の総会を祝し、心よりお喜び申し上げます。関係各位の並々ならぬご尽力に敬意を表し、大会のご成功を祈念いたします。

————— 全国パーキンソン病友の会群馬県支部会長 塩沢福司 様

- 拝復第11回定期支部総会開催のご案内を有り難く拝受いたしました、茨城県支部結成後既に11年目を迎えることになりまして、その間のご苦労に対し深く敬意を表するものであります。御会は構成する役員が常づねイキイキとした活動をなされ羨望にたえません。総会を機として今後一層の躍進を祈念するものであります。敬具。

————— 全国パーキンソン病友の会神奈川県支部長 須藤好雄 様



1995年度

JPC総合的難病対策の早期確立を要望する請願書

下記の方々、署名・募金ご協力下さいまして、誠にありがとうございました。

水戸市・桑名律子様	つくば・松本寅男様	高萩市・沼田栄美子様
〃大森誠様	〃久保蘭努様	古河市・阿部由美子様
〃鴨志田あい子様	竜ヶ崎・花沢勝美様	藤代町・太田昭子様
〃新井知恵子様	〃植本泰久様	守谷町・益田功様
〃三浦ツネ様	ひたち納・住谷金次郎様	利根町・金山洋子様
〃塩原幸子様	〃佃国夫様	山方町・中嶋雅子様
日立市・永井絹子様	〃久保悦郎様	茎崎町・木村安様
〃君島照子様	笠間市・西野源四郎様	岩瀬町・仁平晴三様
〃中村幸四郎様	〃綿引義男様	那珂町・小佐畑はつ子様
〃益子明美様	結城市・吉田政治様	玉里村・上田てい様
〃樋熊常雄様	〃大竹安子様	東海村・平松伸之様
〃加藤睦子様	下妻市・松沼芳三郎様	谷和原・鈴木操様
石岡市・清水昇勝様	牛久市・池田弥生様	五霞村・松沼房子様
〃清水晴美様	〃井坂泰子様	旭村・安達明雄様
〃藤崎庄次様	取手市・秋谷はる様	以上44名様

・署名総数580名 ・募金総額138,000 ・諸経費9,600

(募金配分内訳)

・JPC(30%) 38,520 ・茨難連(20%) 25,680 ・県支部(50%) 64,200

なお、平成8年6月3日に、国会請願を行う予定です。

寄付金一覧表 (平成7年4月1日~平成8年3月31日)

水戸市・大森誠様	10,000	日立市・中村幸四郎様	10,000
石岡市・清水昇勝様	1,950	笠間市・郡司みい子様	500
藤原会・千葉洋子様	1,600	谷原村・鈴木操様	372
北茨城・川又うめ子様	3,000	笠間市・綿引義男様	8,350

以上8名の方より、ご寄付金がありました。会の運営資金にさせていただきます。

新役員紹介

第11回定期支部総会にて支部役員選出の結果、全員が留任となりました。引き続き務めますので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

支部長	清水 昇勝	〒315	石岡市
副支部長	植本 泰久	〒301	竜ヶ崎市
事務局長	清水 晴美	〒315	石岡市
事務局員	中村幸四郎	〒316	日立市
〃	西野源四郎	〒309-16	笠間市
〃	小佐畑 弘	〒311-01	那珂郡那珂町
〃	桜井 信一	〒309-17	西茨城郡友部町
〃	綿引 義男	〒309-16	笠間市
〃	植本 純代	〒301	竜ヶ崎市
会 計	大森 誠	〒310	水戸市
監 査	久保蘭 努	〒305	つくば市
〃	照沼 和子	〒319-11	那珂郡東海村

訃 報 平成7年4月1日～平成8年3月31日

竜ヶ崎・木村 寅吉 様 (7. 6. 1) 左記の10名の方々が死去致しま
 水戸市・関根 いね 様 (7. 6. 14) した。ご逝去を悼み、謹んで哀悼
 ひたし、山田 俊子 様 (7. 7. 28) の意を表します。
 日立市・中村 キク江 様 (7. 8. 11)
 水戸市・西山 正夫 様 (7. 9. 29)
 牛久市・鶴沢 キヨノ 様 (7. 10. 14)
 下妻市・松沼 ひさ 様 (7. 10. 20)
 ひたし、宮崎 ふさ 様 (8. 1. 20)
 水戸市・根本 よし 様 (8. 1. 26)
 麻生町・永作 けん 様 (8. 1. 30)

議事及び議案審議結果報告

- (1) 平成7年度活動報告・活動日誌 承認
- (2) 平成7年度収支決算報告 承認
- (3) 平成7年度特別会計決算報告・会計監査報告 承認
- (4) 平成8年度一般会計予算(案) 承認
- (5) 平成8年度活動方針(案) 承認
- (6) 平成8年度支部役員選出(案) 承認 12ページの通り



平成8年度活動方針

1. マスコミ、県や市町村の広報、病院、各保健所を通じて未加入潜在患者の発掘につとめ、一般社会にパーキンソン病の啓発宣伝を行います。
2. 地区別(ブロック)活動の推進をはかります。
3. 患者・家族交流会(一泊旅行)を行います。
4. 必要に応じて会員宅を訪問致します。
5. 県難連、他難病団体、パーキンソン病友の会他支部との連帯を深めていきます。
6. 支部会報(支部だより)を発行します。



他団体よりの手紙

新緑が目にしみる季節となりました。いつも当友の会にご協力頂きありがとうございます。

総会、講演、娘の結婚式と済みやっと落ちついた生活に戻りました。そこで先日に行った総会当日のお礼をとペンをとりました。総会が同時日ではありましたが、お忙しい中、大森さん、綿引さんに手際良く準備お手伝いして頂き誠にありがとうございました。

私ども患者会は女の方が多く、横断幕取り付けには四苦八苦です、このように患者会同志が助けて頂ける事に心強く感じました。

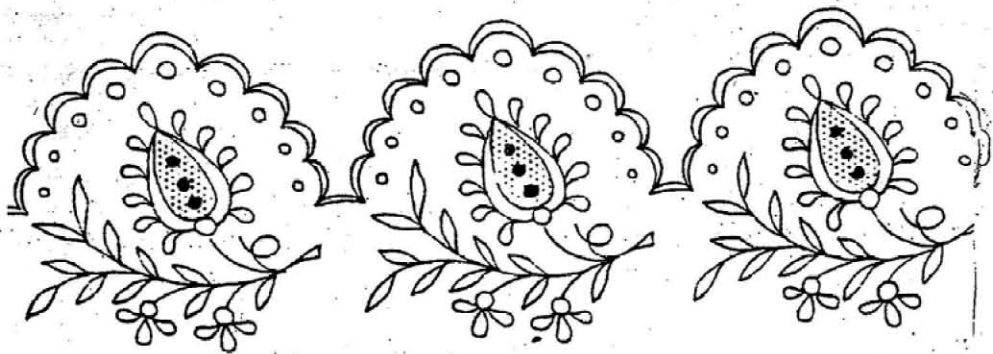
難連の中はいろいろとありますが、歴史を積んでいるパーキンソン会長様、今後とも良きご指導、お力添えをお願い致します。

心から御礼申し上げますとともに、大森様、綿引様には、くれぐれも宜しくお伝え下さい、お願いします。まずは御礼まで。

敬具

全国パーキンソン病友の会
茨城県支部長 清水 昇勝 様

全国膠原病友の会
茨城県支部長 千葉 洋子



定期支部総会の総括

今回の総会には新聞・放送等のマスコミの報道により、県内各地からの一般参加者50名の方が加わり、第2部の水戸赤十字病院第一内科神経内科部長鈴木則宏先生の医療講演を拝聴する事が出来ました。尚会場新たに9人の方が入会致しました。

■日 時 平成8年4月21日(日) 午前10時30分～午後3時

■場 所 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館4階大研修室

■参加者 会員38名 家族21名 委任状53名 一般聴講者50名

議長に中村幸四郎氏を選出し、第1号議案から第5号議案まで承認されました。第6号議案の役員選出では全員が留任致しました。

【事務局だより】

*各地区別活動の推進をはかるため、地区別毎に思考をこらした催しが行なわれます。ご期待下さい。

*支部主催の患者・家族交流会は9月に大子温泉「福寿荘」を予定しています。詳しくは追ってご案内致します。

編集後記

この号(支部会報39号)より結成11年目出発にあたり。気持ちも新たに私たちの支部会報にして行きたいと思っておりますので、皆様のさらなるご協力をお願い致します。この会報の発行日と同じ日に全国総会が九州熊本県で開催されます。

S

編集者 全国パーキンソン病友の会茨城県支部

〒315・茨城県石岡市若松1-7-5

TEL&FAX: 0299-22-5580

郵便振替口座番号: 00300-4-38042

発行者 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157・東京都世田谷区砧6-26-21

TEL: 03-3416-1689

頒価300円

一九七一年八月七日第三種郵便増刊通巻二六三一号
S S K A (毎月六回一の日・六の日発行)